

令和5年度 第6号 小学校低学年版

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ~カーボンハーフ~
さい生かのうエネルギー「水力はつ電」

ねん
年

くみ
組

なまえ
名前

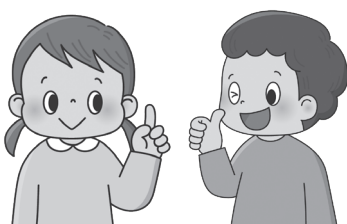
①ダムのしゃしんを見て、思ったことを書きましょう。



②わたしたちの生活で、水はどんなことにつかわれているのか、考えましょう。



③水を大切につかうために、わたしたちにできることを考えましょう。



カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

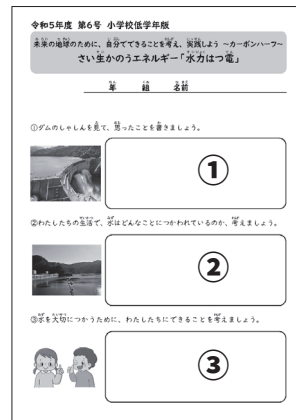
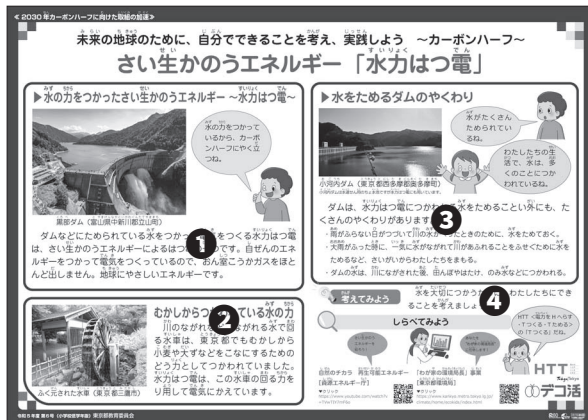
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
再生可能エネルギー「水力発電」

①表題



②ねらい

- ・水力発電は、再生可能エネルギーによる発電の一つであることを理解する。
- ・水力発電は、温室効果ガスをほとんど出さないことを知る。
- ・水の力を利用した水車は、古くから使われていたことを知る。
- ・ダムについて、発電以外の役割があることを知る。

③本教材で扱う 再生可能エネルギーの一つである水力発電が果たす役割、ダムの役割、生活の中の主な内容

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示用教材①を見て、ダムの写真を見て思ったことを発表する。 ○ 水力発電について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水力は再生可能エネルギーによる発電の一つであること、水力発電は、温室効果ガスをほとんど出さないことを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 掲示用教材① ◆ ワークシート① ◆ 水力発電の二酸化炭素排出量は建設・補修時に発生するものが全てで、運転中は二酸化炭素を排出しません（中学校・高等学校版に掲載）。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示用教材②を見て、水の力は昔から使われていることを知る。 ○ 掲示用教材③を見て、ダムの役割を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昔から水車などで水の力を利用して、小麦や大豆を挽いていたことを説明する。 ○ ダムの役割を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 掲示用教材② ◆ 掲示用教材③ ◆ ワークシート②
<ul style="list-style-type: none"> ○ 私たちの生活で、水はどんなことに使われているのか考え、発表する。 ○ 掲示用教材④を見て、水を大切に使うために私たちにできることを考え、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水を大切に使うために、自分たちにできることを話し合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 掲示用教材④ ◆ ワークシート③ ■ 資源エネルギー庁 自然のチカラ 再生可能エネルギー ■ 環境局 「わが家の環境局長」事業 ■ 東京都教育庁 カーボンハーフスタイルチャレンジ

